品名	物質名		形状	比重	引火点	発火点	融点	昇華 沸点	分解促進	可燃性	自然 発火	引火性	水溶性	加熱・燃焼	溶ける	溶けない	保存	消火 反応	NG
	過酸化ベンゾイル C ₁₄ H ₁₀ O ₄	強酸化剤 工業、漂白剤、ニキビ の治療	白・結晶	1.33		125°C	106~108°C		100°C				×		アルコール エチレングリコール 有機溶剤	水	湿らせる。乾燥させない。	酸化作用 光⇒分解 皮膚炎をおこす	強酸 (濃硫酸、硝酸)・4 機物・アミン類⇒分解・類 発
有機過酸化物 (酸素をもつ)	エチルメチルケトンパー オキサイド C8H18O6	強酸化剤	無・液体	1.12	72°C	177°C	-20°C以下	1	40°C 布・鉄 ⇒30°C以下			0			ジエチルエーテル	水	密栓せず通気性を持たせる。	ロ光・鉄・ぼろ布・アルカリ等⇒分解 ジメチルフタレートにて50-60%に希釈	酸・塩素
	過酢酸 C ₂ H ₄ O ₃	殺菌消毒薬 酢酸臭 強酸化剤	無・液体	1.15	41°C		0.1°C	105°C	110°C			0	0		水 アルコール エタノール エーテル		冷所で保管	有機物・還元性物質・酸化剤⇒爆発 空気と混同して引火性・爆発性気体生じる 酸化性物質⇒燃焼	
硝酸エステル類 (可燃物分子中に酸素・窒素 をもつ)	硝酸エチル C2H5NO3	芳香 甘味	無・液体	1.11	10°C			87.2°C				0	Δ		アルコール メチルアルコール	水 (少し)	冷所で保管	蒸気は空気より重い	
	硝酸メチル CH3NO3		無・液体	1.22	15°C			66°C				0	×		アルコール ジエチルエーテル 有機溶剤	水	冷所で保管	困難	
	ニトログリセリン C₃H₅N₃O₅		無・液体 油状	1.6		218°C	13°C 8°C 凍結	160°C					Δ		アルコール 有機溶剤	水	冷所で保管	漏出した場合は水酸化Na(苛性ソーダ)のアルコール溶液で拭き取る。	
	ニトロセルロース (C6H9(NO2)O5)n	無臭自然発火	無・固体 綿状	1.7		160~ 170°C	0 0 0,011				0		×	窒素酸化物 一酸化炭素 二酸化炭素	酢酸エチル 酢酸アミル アセトン	水	密栓 水、アルコールなどで湿潤	変素含有量が多い⇒強綿薬(強硝化綿) 窒素含有量が少ない⇒弱綿薬(弱硝化綿) 空気と長期間接触すると自然発火(値射日光・加熱)	
	セルロイド (ニトロセルロース+樟の う) C10H16O		透明·半透明 固体			170°C					0				アセトン 酢酸エチル	水	冷所で保管	燃焼性大きい 粗製品・古製品ほど発火点低い 高い温度、高い温度で自然発火 熱可塑性、100°C以下で軟化。分解しやすい	
ニトロ化合物 (可燃物分子中に酸素・窒素 をもつ)	ピクリン酸 C6H3N3O7	無臭苦味	黄・結晶	1.77	207°C	320°C	122.5°C	105°C		0		0	0		アルコール アセトン ベンゼン 熱湯	冷水 エタノール(少し)	湿らせる。乾燥させない。 ×金属製の容器	金属と反応⇒爆発性の金属塩 ゆっくり加熱⇒昇華 急熱⇒爆発	酸化剤、アルカリ、金属、 アンモニア、還元剤
	トリニトロトルエン C7H5N3O6	高性能爆薬	淡黄・結晶	1.65	×	230°C	80°C	250°C		0			×		アセトン ベンゼン アルコール 有機溶剤	水		金属とは反応しない 爆発性	
ニトロソ化合物 (常温20°Cは固体) (酸素・窒素をもつ)	ジニトロソベンタメチレ ンテトラミン C5H10N6O2	ゴムの有機発泡剤	淡黄・粉				255°C		200°C				Δ	ホルムアルデヒド アンモニア 窒素等 (爆発的分解)		ベンジン ガソリン 水 (少し) ベンゼン (少し) アルコール (少し) アセトン (少し)	換気のよい冷暗所	水 強酸⇒分解・発火 熱分解→窒素発生	酸
アゾ化合物 (窒素をもつ)	アゾビスイソプチロニト リル C8H12N4	プラスチックやゴムの 発泡剤	白・粉			64°C	105°C							シアン化水素 (青酸ガス)	アルコール エーテル	水		*	
ジアゾ化合物 (酸素・窒素をもつ)	ジアゾジニトロフェノー ル C6H2N4O5	雷管用起爆薬	黄・粉	1.63		180°C	169°C						Δ		アセトン	水	水、アルコール混合液の中で保存	光⇒褐色に変色 困難 燃焼⇒爆ごう 不燃性ガスで置換した時も燃焼起こる	
ヒドラジンの誘導体 (無機化物) (酸素・窒素をもつ)	硫酸ヒドラジン H6N2O4S	無臭 還元剤 水溶液は酸性 プラスチック発泡剤	白・結晶	1.37			254°C						温水〇		温水	冷水 アルコール		水 還元性が強い、酸化剤と激しく反応	酸化剤、アルカリ
ヒドロキシルアミン塩類 (無機化物) (酸素・窒素をもつ)	硫酸ヒドロキシルアミン H6N2O2·H2SO4	還元剤 水溶液は酸性 (鉄製容器を腐食) 天然ゴムの粘度安定剤	白・結晶	1.9	100°C	130°C	33°C	57°C		0 0	硫黄酸化物 窒素酸化物	水	エタノール エーテル アルコール	冷暗所に保管 乾燥状態 ガラス製・ポリエチレン製容器・クラ フト紙(鉄製容器を腐食) ×鉄製容器	アルカリ⇒分解 強い還元剤 湿気・二酸化炭素 (NG) ⇒分解進む 過マンガン酸K⇒発火・爆発	鉄イオン⇒発火・爆発			
	塩酸ヒドロキシルアミン HONH2·HCI		白・結晶	1.67												,	潮解性があるため密封する 腐食性・潮解性 粉塵爆発・自己反応性	高濃度水溶液+鉄イオン⇒発火・爆発	
その他	アジ化ナトリウム (無機化物) (アジ化物) NaN3 (窒素をもつ)	防腐剤農薬起爆剤	無・結晶	1.85			275°C		300°C					窒素 金属ナトリウム	(熱が加わると水	エーテル エチルアルコール エタノール	換気のよい冷暗所	酸⇒アジ化水素酸 水・重金属⇒アジ化物(爆発性)⇒乾燥砂で消火 二硫化炭素・臭素に激しく反応 アジ化ナトリウム自体に爆発性ない 漏出時は水で洗い流す 金属に反応	酸、金属粉(特に重金属) ⇒爆発 水 (注水厳禁) ⇒金属Na- 水⇒水素発生 直射日光
	硝酸グアニジン CH6N4O3 (酸素・窒素をもつ)	強酸化剤有毒	白・結晶	1.44			215°C						0		水 アルコール エタノール エーテル			水 自己燃焼により熱分解で窒素と二酸化炭素の水蒸気ガス 生成する。	È

金属と反応して分解し、自然発火する 燃焼速度が早い 可燃物と酸素供給源が共存、可燃性 熱、光あるいは還元性物質により容易に分解し、遊離ラジカルを発生する 常温(20°C)では液体または固体 ほとんどのものが酸素を含み、自己反応性の物質

適用 適用しない ・ 水、強化液、泡 ・ 二酸化炭素消火剤 ・乾燥砂等・ハロゲン・粉末 (リン酸塩等)